

児童アンケート調査より

～アンケート結果より見られる太子町の小学生像～

太子町の小学生に特徴的な傾向が見られた項目について

年度により、調査の対象・手法等に違いがあります。ご注意ください

- H21 全国学力・学習状況調査 H21. 4. 21 実施
- H23 大阪府学力・学習状況調査 H23. 6. 14 実施
- H24 大阪府学力・学習状況調査 H24. 6. 12 実施
- H25 全国学力・学習状況調査 H25. 4. 24 実施
- H26 全国学力・学習状況調査 H26. 4. 22 実施

1. 心の状態に関して

規範意識が高く、思いやりがある！学校へ行くのが楽しい！

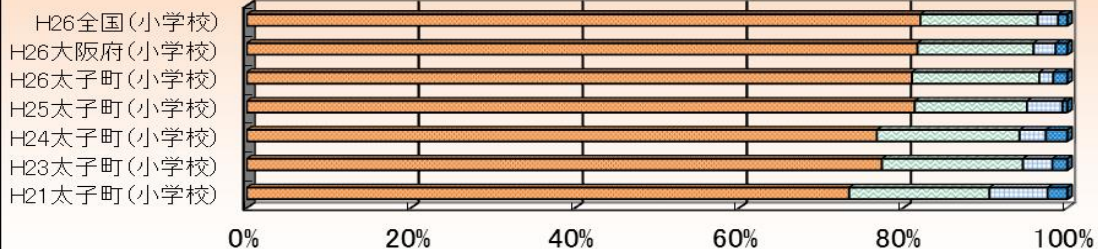
学校のきまりをきちんと守り、いじめはいけない！そんな小学生の様子が調査からうかがえます。

いじめに関して、「どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた児童の割合は、全国・大阪府と同様に高い数値となっています。また「人の気持ちがわかる人間になりたい」という児童の割合は特に高く、思いやりの心が育っている様子がうかがえます。

いじめは、子どもの心と体に、また、その成長に大きく影響を及ぼす重大な人権侵害事象であり、学校・家庭・地域が協働し、子どもと大人「みんな」が総がかりとなって取り組むべき教育課題です。子どもたちだけでなく、教職員をはじめ、子どもに関わる全ての大人自身が、取り組まなければならない問題です。

いじめは、どんな理由があってもいけないと思う

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば当てはまらない
- 4. 当てはまらない



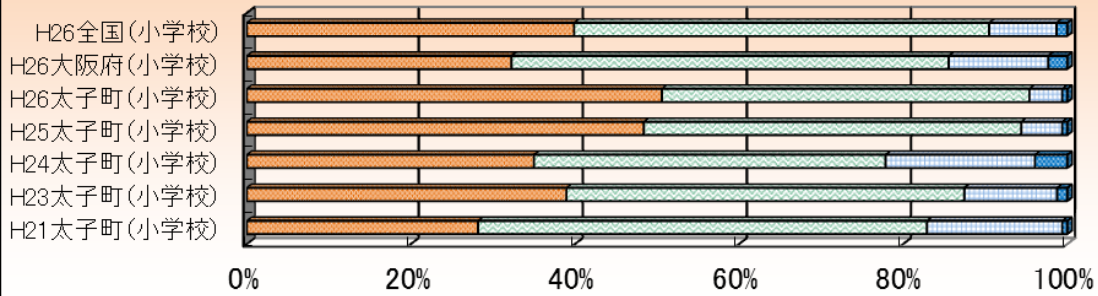
※平成 25 年 9 月 28 日に施行された「いじめ防止対策推進法」では、国や自治体、学校や教職員、児童生徒や保護者についてもいじめ問題に対する責任を明らかにし、みんなで取り組んでいくことが示されました。また、町立学校では「いじめ基本方針(平成 26 年 4 月)」を策定し、いじめ防止に向けて取組を計画的に進めています。

「いじめられる側にもそれなりの理由がある」などということは間違いです。いくら軽い遊びや悪ふざけ、ジョークのつもりでも、いじめられる側の苦しみ痛みは深刻であることを理解させ、いじめることは、人間として決して許されないことであり、いじめをはやし立てたり傍観したりすることも同じである、ということを家庭の中できちんと話し合しましょう。そして、自分の子どもがいじめをしているとわかったら、必ずすぐにやめさせてください。また、いじめる子の中には、親から暴力や強いプレッシャーを受けるなど、家庭でも学校でも居場所がない子どもが多いと言われます。子どもが楽しめるものを見つけ、心が満たされるように配慮するなど、いじめをしない心の環境づくりをしましょう。



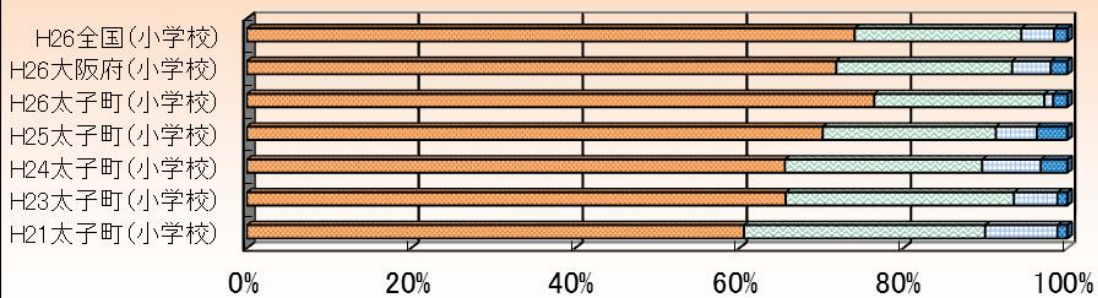
学校のきまりを守ってますか

■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる ■3.どちらかといえば当てはまらない ■4.当てはまらない



人の気持ちがわかる人間になりたいと思う

■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる
 ■3.どちらかといえば当てはまらない ■4.当てはまらない



人を思いやることや、自らコミュニケーションをとっていかうとする態度を育てることは、とても大事なことであり、これからの社会の中で大きな力となります。学校・家庭・地域が一体となって太子町の子どものすばらしい面を伸ばしていきましょう。



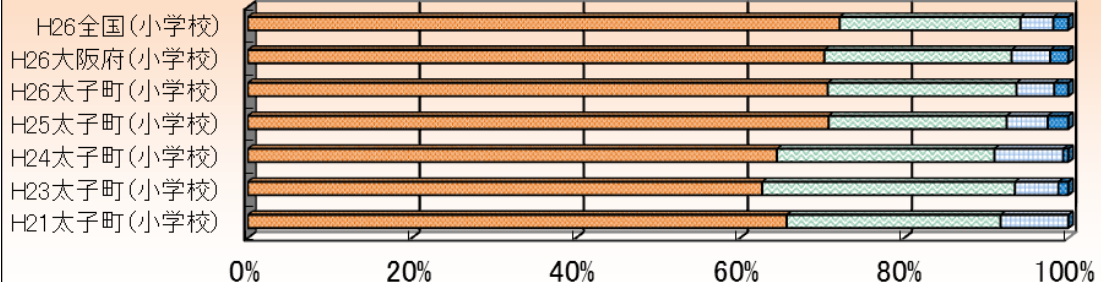
社会に貢献したい！

特徴的なのは、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童の割合が高くなっていることです。日頃から地域を含め、自分の周りの人とのかかわりを持つことが多く、その中で世の中のために頑張りたいと思っている姿が感じられます。

また、物事を最後までやりとげてうれしかったというような成功体験をしていることが、「みんなの前でもはっきりと意見を言える」、「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」という結果につながっていると思われます。

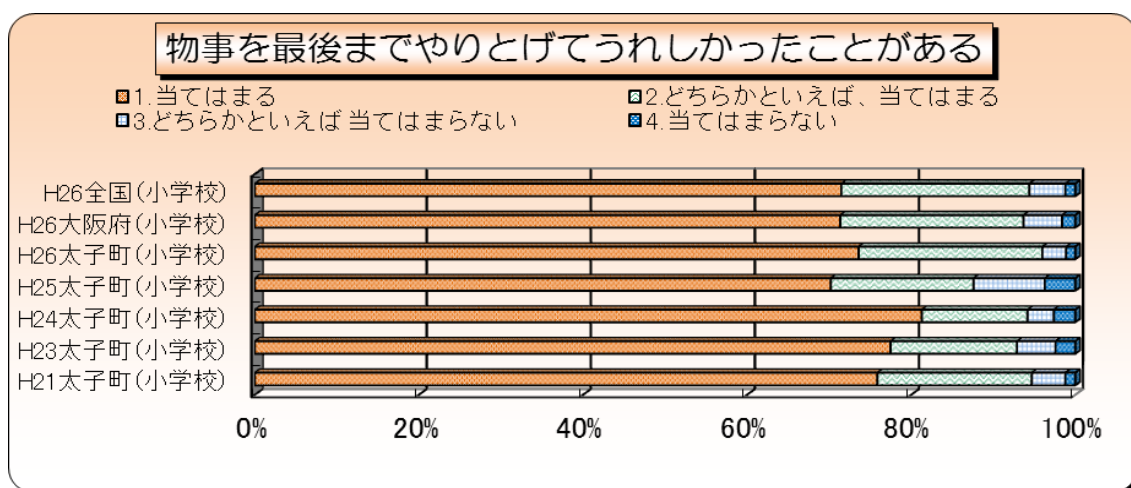
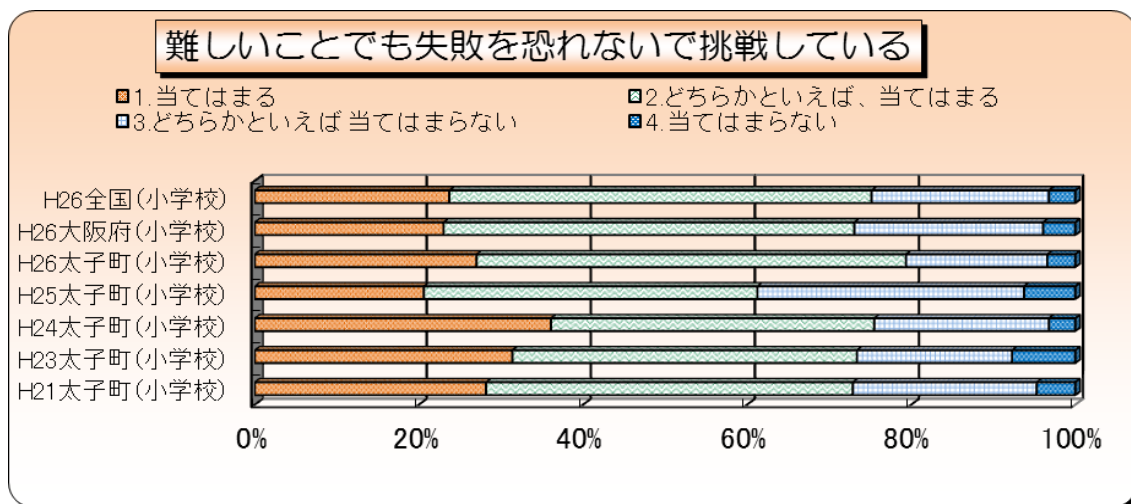
人の役に立つ人間になりたいと思う

■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる
 ■3.どちらかといえば当てはまらない ■4.当てはまらない



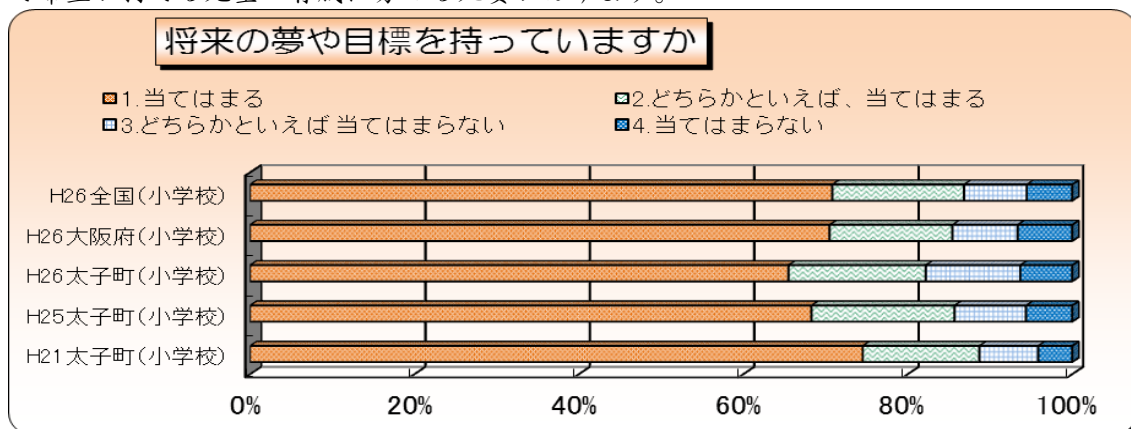
チャレンジ精神が向上

今年度の調査では、全国や大阪府と比較しても高い数値がでています。本町においての経年比較でも「難しいことにでもチャレンジしていこうとする児童」の割合に改善が見られます。学習・スポーツ等に取り組むとき、あるいは社会に出たときに基礎となる大事な力です。小さな成功体験の積み重ねが、困難な課題に対しても立ち向かっていこうとする心を育てます。学校と家庭が連携し、課題の与え方について工夫していく必要があると感じられます。



将来に向けての夢や希望は？…

将来へ向けての夢や目標を持っている児童の割合が、全国や大阪府と比べても、また、過去の本町の状況と比べても低い結果となっています。学校と家庭が連携し、将来に向けて希望が持てる児童の育成に努める必要があります。



2.基本的な生活習慣に関して

小学生の生活習慣の変化に要注意！

下記の結果から考察すると、本町の児童に生活習慣の変化がうかがえます。全国・大阪府と比較し、朝食を食べている児童の数が改善しています。

テレビゲームを2時間以上している児童の割合や携帯電話やスマートフォン等での通話やメールを1時間以上している児童の割合が増加している傾向がとても気になるところです。健全育成に向けての大きな課題と言えます。

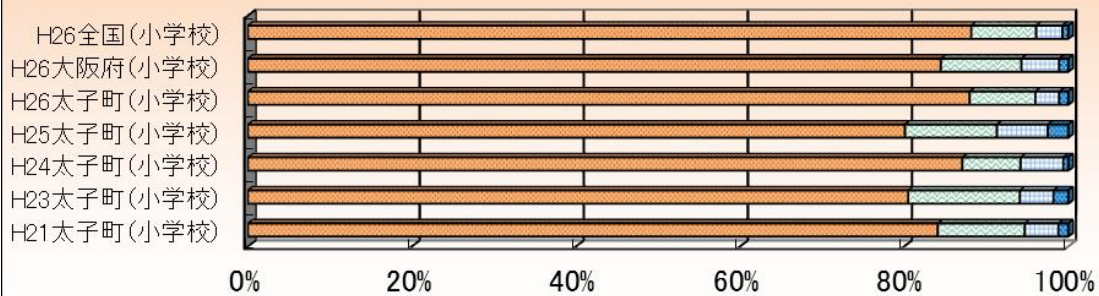
また、携帯電話やスマートフォンの普及に伴い、青少年がトラブルに巻き込まれるケースが増加しています。

親子のコミュニケーションなどによって育まれる家庭の絆や、家庭でのルール「早寝早起き朝ごはん」といった生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組んだりすることが大切です。各家庭でも今一度見直す機会を設けましょう。



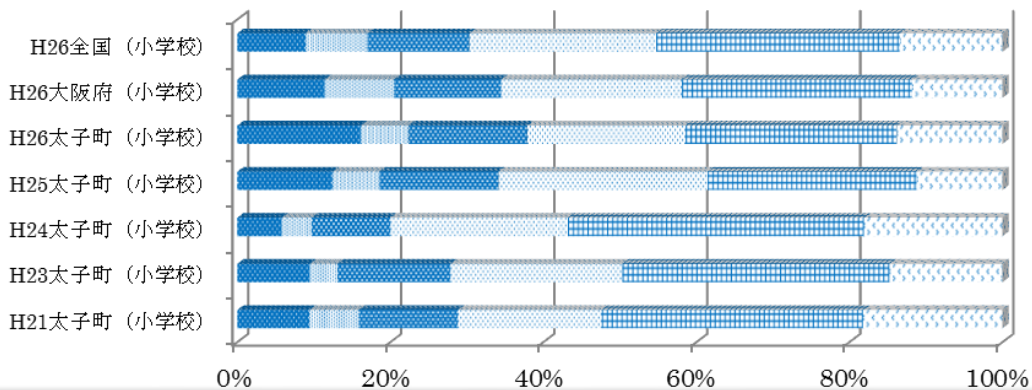
朝食を毎日食べている

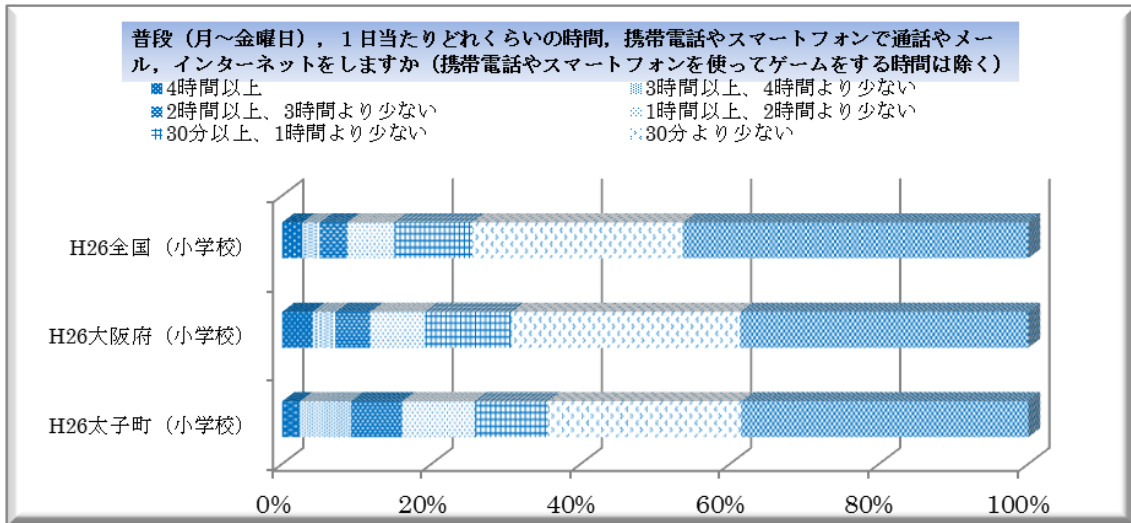
■1.している □2.どちらかといえば、している □3.どちらかといえばしていない ■4.していない



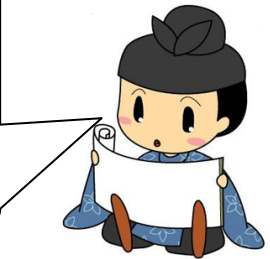
ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含みます）をしますか

■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない □2時間以上、3時間より少ない
 ※1時間以上、2時間より少ない ※1時間より少ない ※全くしない





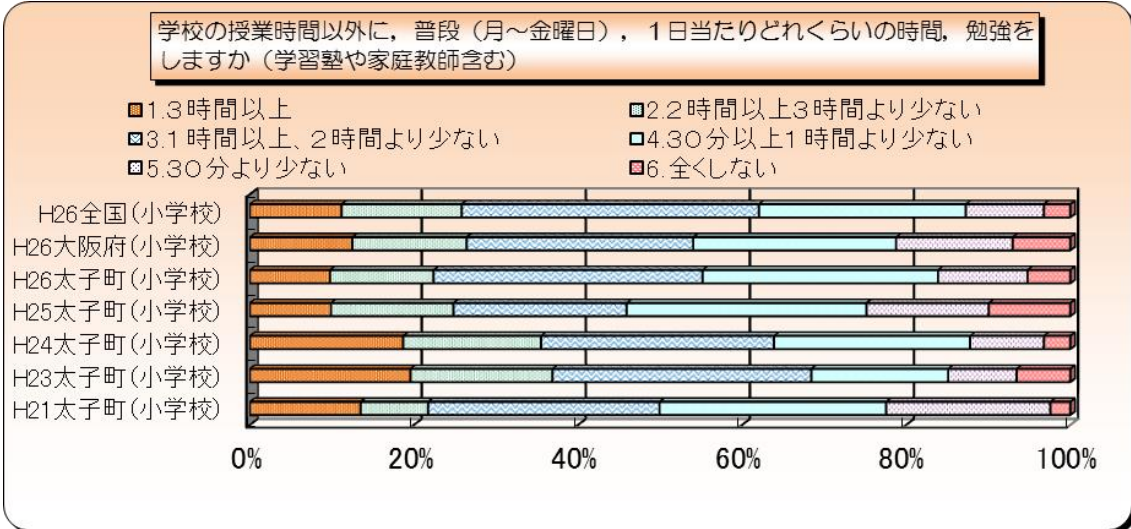
子どもたちは、家庭でのルールや約束を守ったり破ったりしながら、人との関係の在り方や社会のルールの大切さを学んでいきます。家庭のルールには、あいさつ、家に帰る時間、寝る時間、きちんとした姿勢などの生活上のルールもあれば、他人に迷惑をかけない、うそをつかないなどといった道徳上のルールもあります。しつけに一貫性をもたせ、しっかりと身につけさせるためにも、はっきりしたルールをつくり、子どもとともに親もそれを守りましょう。また、子どもの意見を聞いて一緒にルールをつくるという姿勢が大切です。ネット社会の発展に伴い、子どもが加害者や被害者にならないように、安全な生活のための知識や子どもへの指導方法を得る機会を積極的に活用しましょう。



3.家庭学習の習慣に関して

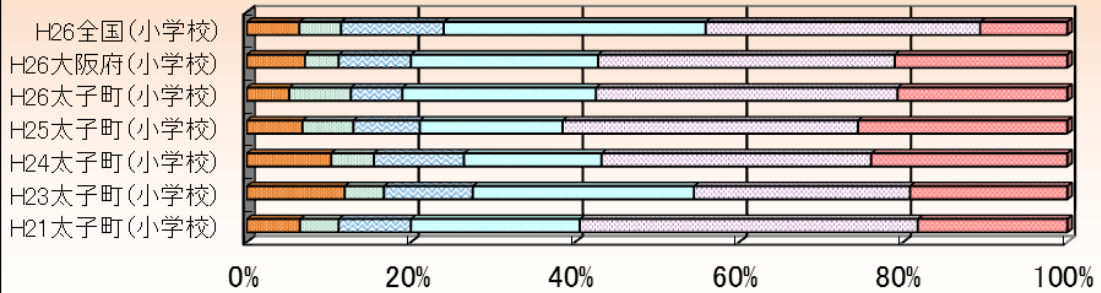
家庭学習を見直す必要が！

生活習慣の変化に伴い、家庭学習の習慣に課題が見えます。全国・大阪府と比較し、家庭学習に時間をかけている太子町の児童の割合が低くなってきています。相反して家庭でテレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲームを含む）に時間をかけている児童の割合が高くなっていきます。



土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

- 1. 4時間以上
- 2. 3時間以上2時間より少ない
- 3. 2時間以上、3時間より少ない
- 4. 1時間以上2時間より少ない
- 5. 1時間より少ない
- 6. 全くしない



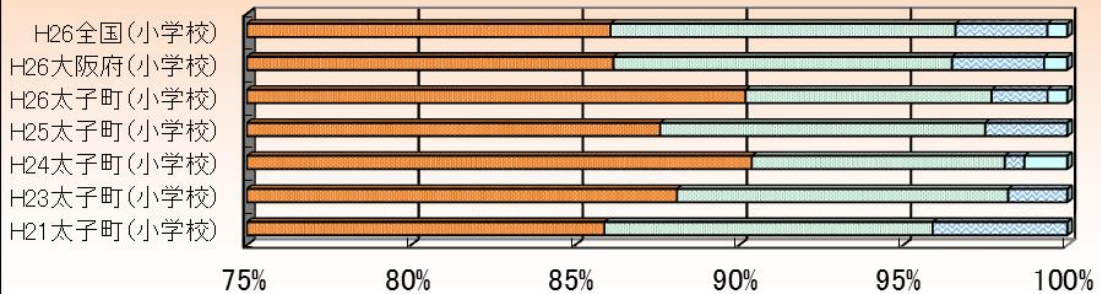
宿題はしている！しかし…

宿題をしている児童は全国・大阪府と比較すると高い割合となっています。しかし、予習や復習をしている子どもの割合は依然少ないようです。自分で計画を立てて学習している児童の割合には改善が見られます。家庭学習の時間や内容、やり方について課題があることがわかります。

宿題の量や内容について、学校全体で見直しを図るとともに、家庭学習の進め方について家庭と連携し、家庭学習習慣の改善を積極的に図っていく必要があると思われます。

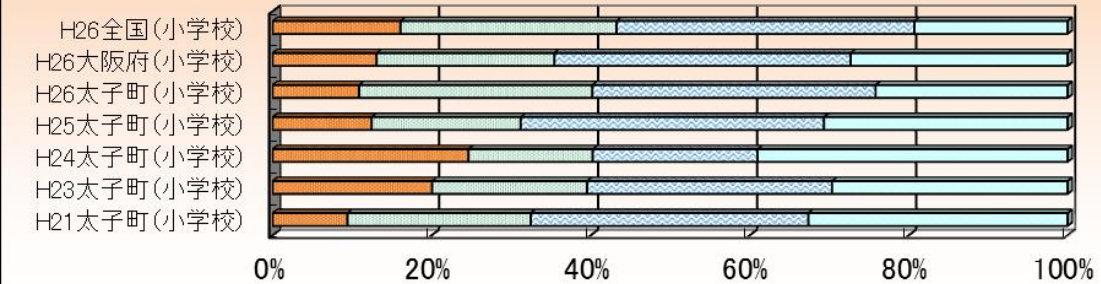
家で、学校の宿題をしていますか

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば当てはまらない
- 4. 当てはまらない



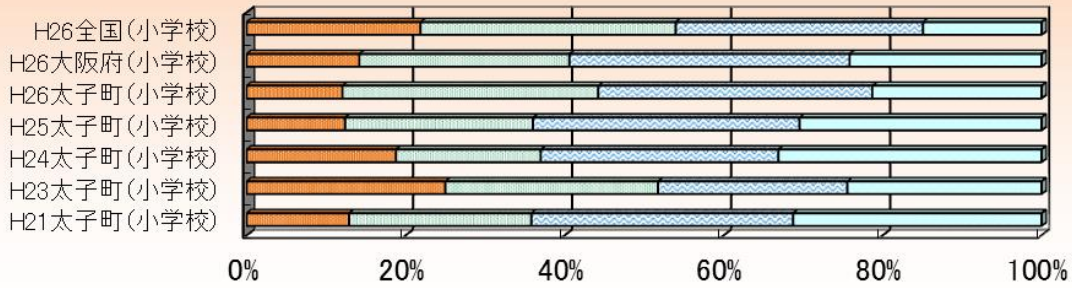
家で、学校の授業の予習をしていますか

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば当てはまらない
- 4. 当てはまらない



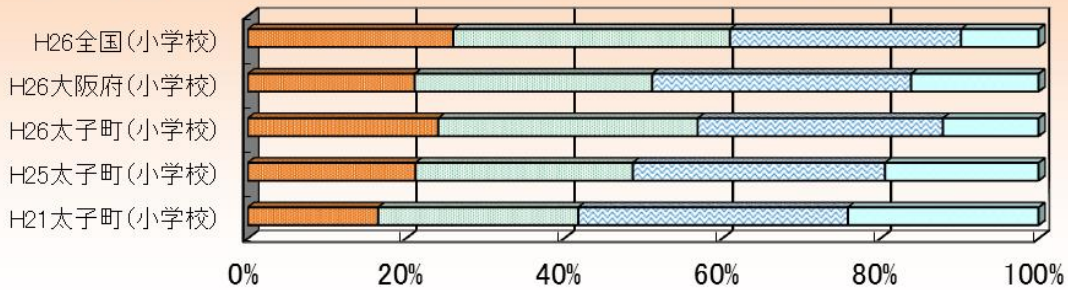
家で、学校の授業の復習をしていますか

■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる ■3.どちらかといえば当てはまらない ■4.当てはまらない



家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる ■3.どちらかといえば当てはまらない ■4.当てはまらない



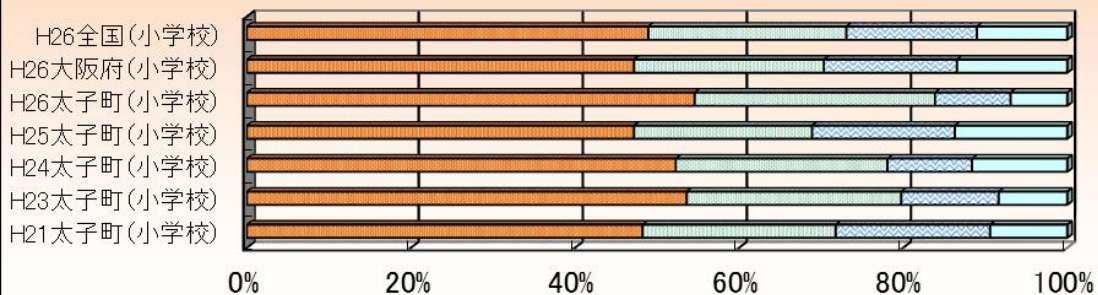
※各ご家庭でも、家庭での学習習慣（予習・復習等）についてご指導いただきますようお願いいたします！

本を読む子どもを増やしましょう！

家や図書館で、時間をかけて読書をする児童の割合が改善しています。学校での取り組みや、地域の方の協力、家庭での支援が向上につながっているように思われます。読書は、想像力や考える力を身につけ、豊かな感性や情操、思いやりの心を育むことができます。どんどん本を読む子どもを育てましょう。

読書が好きですか

■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる
■3.どちらかといえば当てはまらない ■4.当てはまらない



家庭教育は、すべての教育の出発点。家族のふれ合いを通して、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。

例えば、毎日の生活の一場面。皆様のご家庭では、どのように過ごしていますか？

いつも家族で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつを習慣にしている。早寝早起きを心がけている。朝ごはんは家族一緒に食べる。学校での出来事などについて、子どもとよく話をする。テレビやゲームの時間などのルールを、親子で話し合っていて決めている。家庭学習（予習・復習）について児童に働きかけるなど・・・。

家庭は、子どもたちが最も身近に接する社会。常に子どもの心のよりどころとなるものです。

少し立ち止まって、日常の家庭での生活を振り返ってみませんか。

